

## 令和6(2024)年3月10日(日) 初午祭関連神事

風の吹く寒い日となりましたが、通常どりの初午祭が行われました。古希・厄年報賽神事、厄年・区会玉垣奉納神事と続き、午後に還暦報賽神事、初午神事、巫女舞、餅投げと続けました。

(古希報賽神事は撮影できませんでした)

### ● 厄年報賽神事



修 祓 この後宮司一拝(10:14)



祝詞奏上



鉦鈴(ほこすず)拝載(はいたい 謹んで受ける意)



宮司玉垣奉奠の後 厄年会代表 玉串奉奠



宮司挨拶



御札・お守り授与 (10:35)

● 厄年玉垣奉納神事



修 祓 (10:50)



除幕の後 祝詞奏上



祝詞奏上



厄年代表 玉串奉奠



宮司挨拶 (11:06)

● 区会玉垣奉納神事



修 祓 (11:15)



除 幕 同時に拍手



祝詞奏上



清め



区長 玉串奉奠



宮司挨拶 (11:28)

● 還曆報賽神事



修祓 (12:42)



祝詞奏上



鉾鈴拝載



還曆会男性代表 玉串奉奠



還暦会女性代表 玉串奉奠



宮司挨拶



御札・お守り授与 (13:07)

● 初午神事



開始太鼓の後 修 祓 (13:59)



宮司一拝後 祝詞奏上



宮司 玉串奉奠



巫女代表 玉串奉奠



区長 玉串奉奠



古希代表 玉串奉奠



還暦代表 玉串奉奠



厄年代表 玉串奉奠



宮司挨拶 (14:16) この後終了太鼓

## ● 巫女舞・餅投げ



巫女 4名の紹介の後 舞い開始 (14:33)



巫女舞



投げ餅祓い



子供にお菓子を配る



15時に餅投げ開始

## 多忙な1日 ご苦労様でした

### ● 初午祭の由来

奈良時代の711年(和銅4年)2月の初午の日に穀物の神様「**稲荷大神**」が稲荷山に鎮座されたとされ、稲荷大神を祀るために初午に「**初午祭**」が執り行われたのが最初だと言われています。

初午とは、昔は日付を十二支(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)に当てはめて数えていて、2月の最初にやってくる「午」の日が「初午」です。

旧暦と新暦には1ヵ月ほどのズレがあり、旧暦の2月は現在の3月となるので初午祭を3月に行う神社も多くあります。

稲荷神社は五穀豊穰以外にも、商売繁盛、産業興隆、家内安全、交通安全、芸能上達などを祈願し、数多くの人が参拝に訪れていると言われています。